



大阪中之島・中央公会堂 2019-04-17撮影

2019年4月18日

企業と雇用システム

第2回

資本主義への発展と雇用制度



高田好章

今回の要点

言葉の概念と歴史を知る

- ・労働
- ・生産
- ・企業
- ・雇用



労働を考える

「労働」とは、「仕事」とは



労働＝働くこと、仕事をすること

仕事＝具体的な労働

計画をもって物・サービスを生み出す
・行動する

労働を考える

動物は働くのか：

動物は労働をしているのか：

計画して動いているのか

「本能」に基づいて行動する

食物を得る

食料を保存する

寝るところを作る

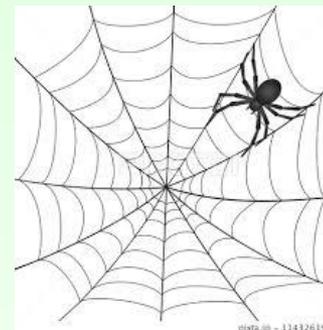
育てるところを作る

子供を育てる



労働を考える

蜘蛛：きれいな模様の糸：装飾



ビーバー：ダムをつくる



人間もつくる
誰のために作るのか
誰に命じられて作るのか

人間は集団でダムや堤防をつくる
集団行動・計画的行動



労働を考える

人間は弱い存在
ただし脳力で道具・物を作り出す

毛がない→寒い→衣服を作り出す

力がない→道具を作り出す

これが生産の始まり

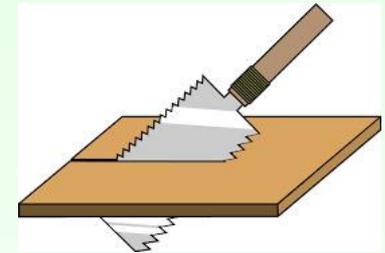
モノを作り出す喜び



労働を考える

人間=弱い存在

素手で木は倒せない
素手で家は作れない
道具を使う



斧(おの)、鋸(のこぎり)、鉋(かんな)

金へん: 金属でできている

原石から鉄を取り出す

材料を作り出す

それぞれが関連する物を作り出す



原料→中間物→完成品: 動物にはない行為:

生産を考える

物と作りだす、
ある物を必要な形に変化させる、
必要な物を作り出す

ここでは、
まだ個人が
作業を全て担当して
物を作り出す



生産を考える

やがて**道具**を
ある**エネルギー**をつかって動かすようになる
: 水力、蒸気力、電力

機械体系が出てくる:

原動機 → 伝導機 → 作業機
ここで大量生産が可能になる

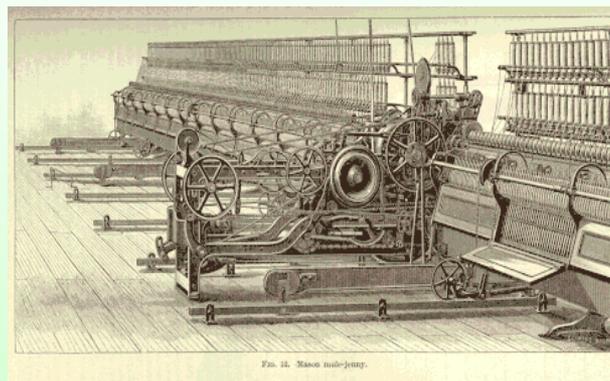
生産力

生産関係

物と人、人と人の関係に
大きな変化をもたらす



蒸気機関:ワットの蒸気機関



自動ミュール機

企業とは何か

この**機械体系**を動かには、
機械に従事する人が必要
それも**大量の人**が必要となる



この機械体系で大量生産をするためには、
それを動かす・運営する組織が必要:

機械制大工業・自動体系



企業: 経営体、仕事をする場の集合体、機械体系で事業をする場・組織体

※小企業・工場(コウバ)では、機械を使わず
道具のみのもところも

企業とは何か

資本家:

企業を所有する・
企業が株式会社:株式を所有する



経営者:

経営者は資本家から委任されて
企業を運営する、経営する
:資本家であることも



労働者:

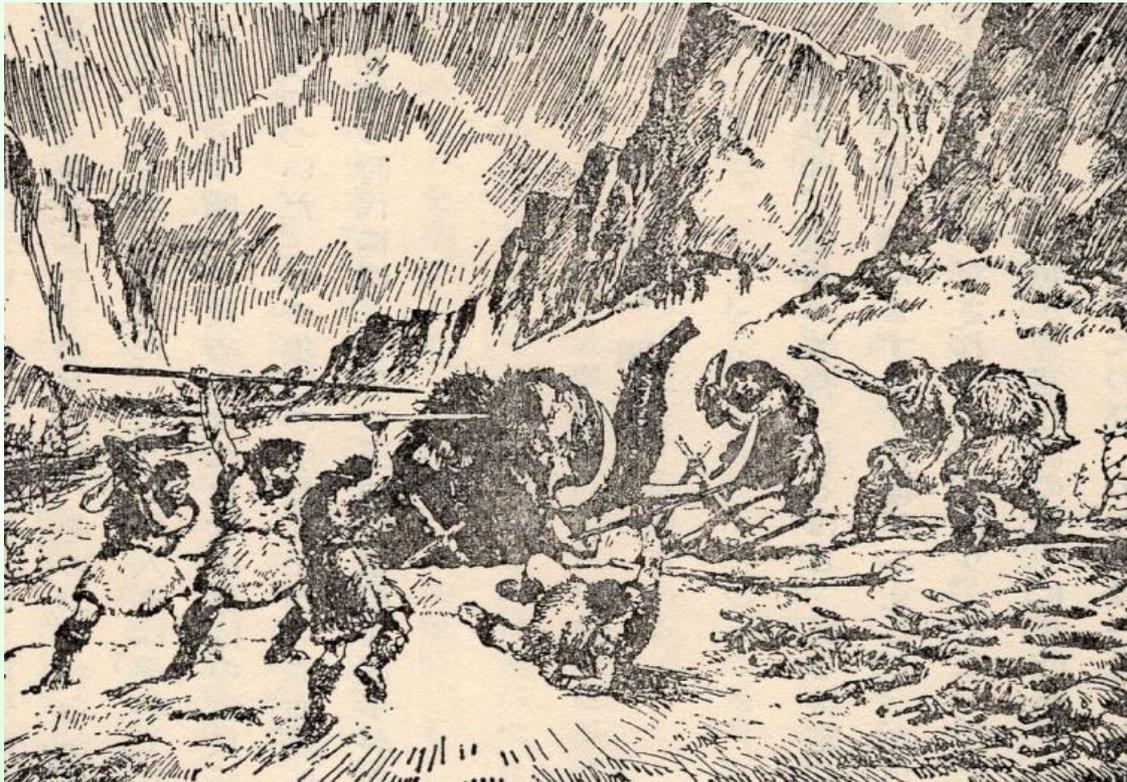
経営者のもとで、仕事をする:
道具・機械は彼のものではない
出来上がった製品は彼のものではない



資本主義以前の労働とは

○原始時代の労働

集団で、獲物や植物・貝・魚類をとっていたであろう

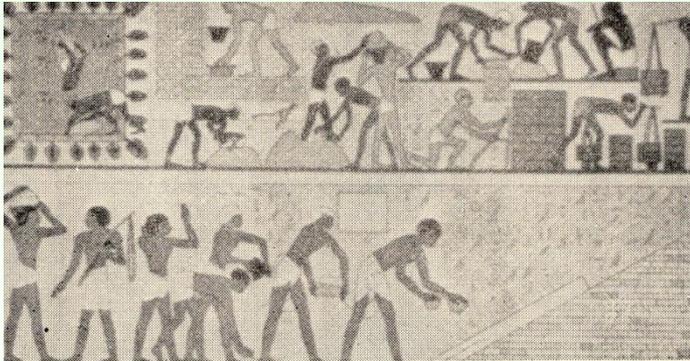


マンモスとのたたかい(想像図)

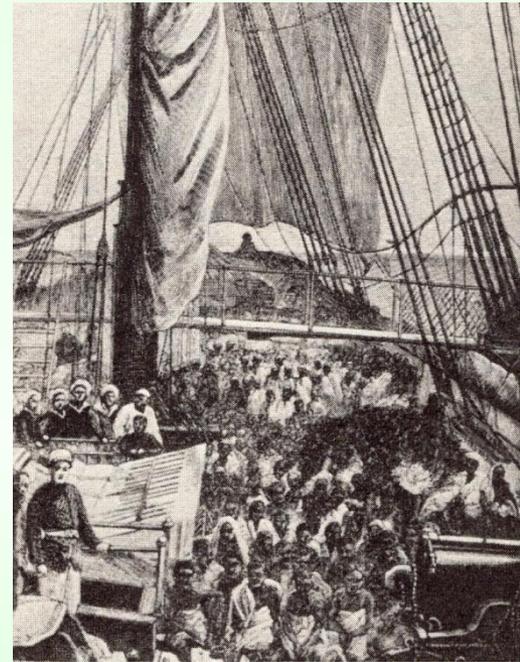
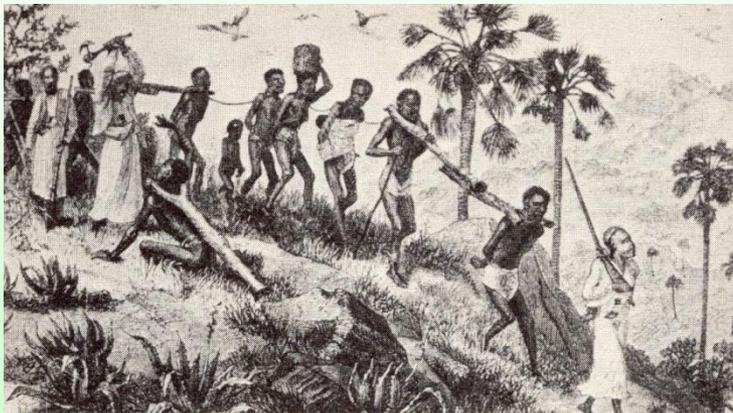
資本主義以前の労働とは

○奴隷労働

古代から近代まで存在した労働：現在もあるかも
人格がない労働、奴隷：人が物として扱われる
賃金は当然ない！



レンガをつくる奴隷たち(エジプト)



アフリカの奴隷狩りと
奴隷船につめこまれた奴隷たち

クチンスキー『労働の歴史』p13
角山栄『産業革命の群像』

資本主義以前の労働とは

○農奴労働

中世の土地制度に基づいた労働、農業に従事

生殺与奪は領主が持つ

領主の領土で土地を貸与されて農業を営む

道具はもつが

貢納・賦役の義務を負う

移動・職業選択の

自由はない

貢納・賦役がある

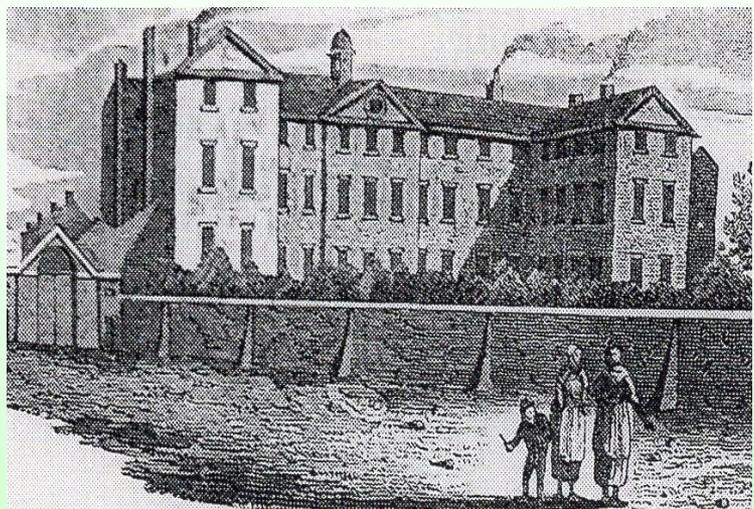
当然、賃金はない！



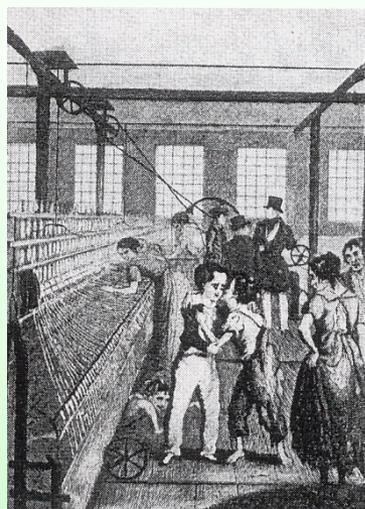
雇用とは何か

機械制大工業には、
大量の労働者が必要となった。

当初、工場の労働に従事する労働者が存在していなかった。そのため、**救貧院の子供**（親のない子や浮浪児）を工場で使った：
ただし、ただ働き、だたで「飯をくわしやる」と。



リバプールの救貧労役所



紡績工場の子供たち

玉川寛治
『資本論と産業革命の時代』

雇用とは何か

本格的な労働者の出現は、
土地から追われた

大量の自由な人々が出てきてから。

土地囲い込み



教区から出ていくよう
貴族に命じられる
農業労働者

エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態』岩波文庫(下)より

雇用とは何か

自由な労働者の出現:

- ・生産する機械をもたず、土地からも自由な、何も持たない労働者(所有から自由)
- ・自由に労働を売ることができる:
しなければ生きていけない

二重に意味の自由な労働者

自由な労働者が

企業を経営する雇い主に雇われる。

つまりここで、「雇用」が発生した

「賃労働」ともいう:

雇われて、他人のために仕事をし、賃金を得る:
作ったものは自分のものではない

雇用とは何か

雇用関係

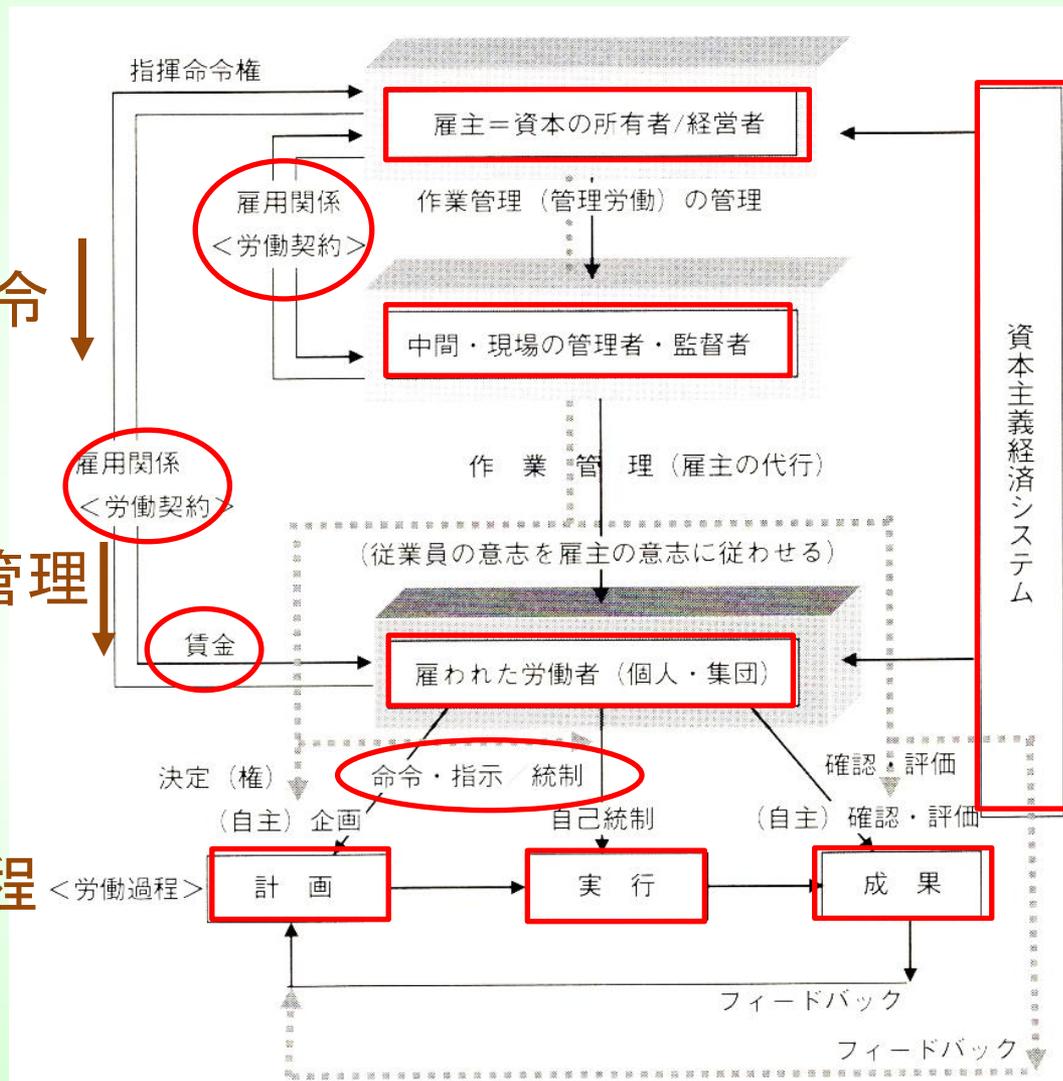


指揮命令

賃金

作業管理

労働過程



雇い主

管理者

労働者

図 3-1 資本主義経済下の労働と作業管理 (概念図)

出所) 著者作成.

「雇用者」という言葉について

雇用、雇庸、被雇用者、雇用主、使用者

「雇用者」とは:

employ : ラテン語:

em(中に) + ploy(結びつける)

= 仕事の中に結び付ける

employment: 雇用、職業

employer: 雇い主、社長、企業主、使用者

→ 雇用者、雇用主

employee: 従業員、雇われている人

→ 被雇用者、雇用者(労働統計で使用)

分業・協業



分業:

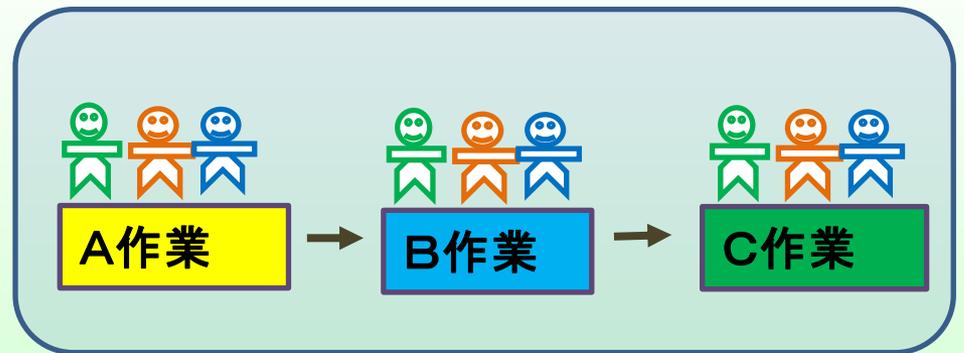
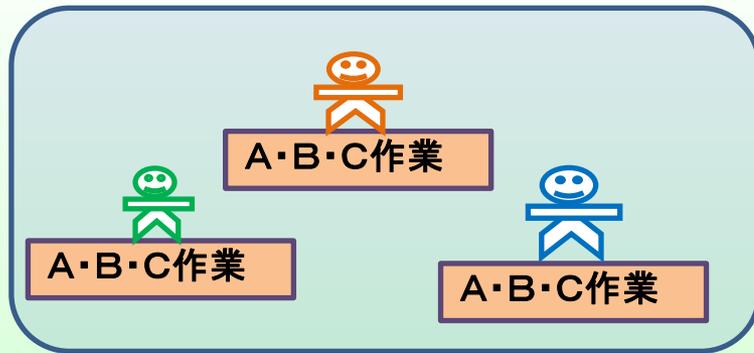
一人で全ての作業をする

作業工程を分けて、専業して作業して生産すること



協業:

大勢・何人かが同じ作業を行うこと、
あるいは大勢が集まって分担して作業すること



いずれも、生産性があがる:工場制度

マニユファクチャ

工場制手工業：

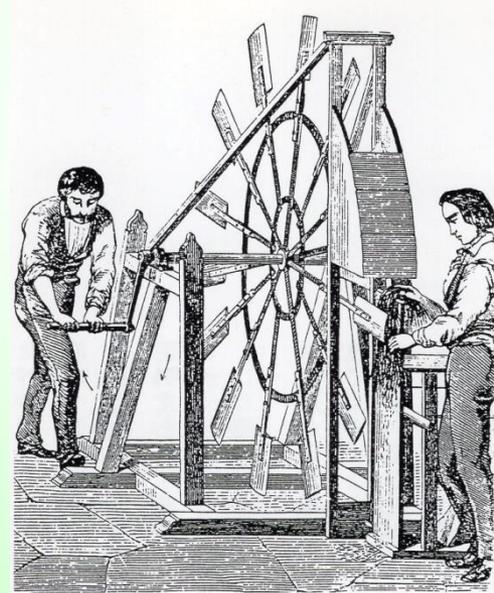
問屋制手工業の次に来るもの

分散マニユ・統合マニユ

日本では、陶磁器の生産：
手作業での分業、
分業で生産性が上がる：



紡績紡車



製線機(せいせんき:スカッチング・ミル)

資本主義の発展と雇用

産業革命

イギリス: その当時の先進国
綿工業における工場制度の成立過程

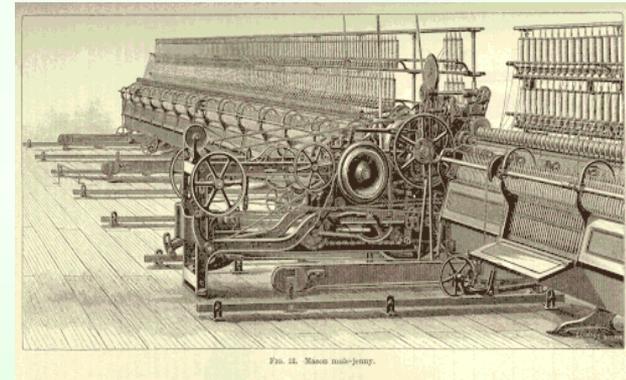
マニファクチュア ← 問屋制



18世紀末から19世紀初
にかけての技術革新:
工場制度の成立

力織機の導入

手織工から工場労働者への転化



自動ミュール機

永田正臣編『産業革命と労働者』ミネルヴァ書房、1985年

機械体系で労働はどう変わったのか

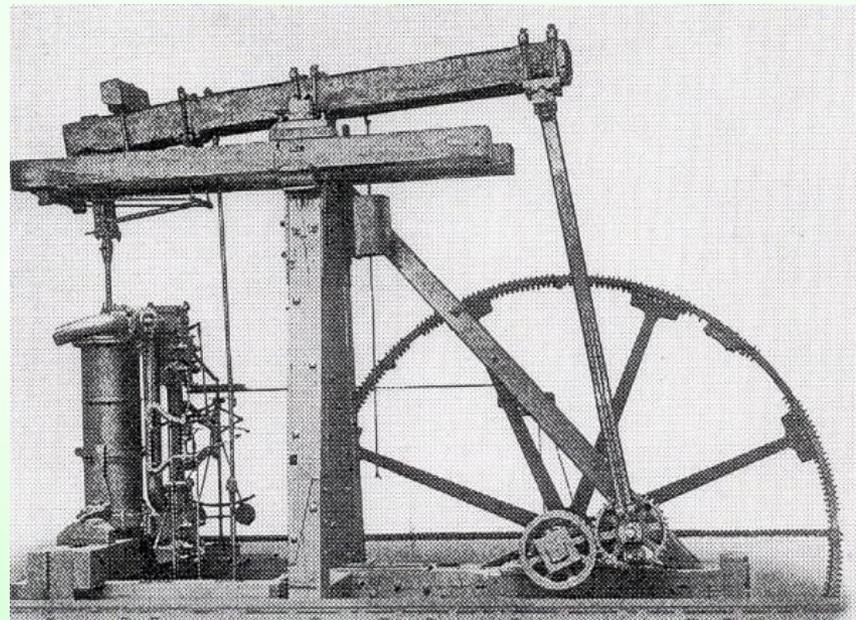
機械体系の成立:

原動機 原動力を作り出す: 物を動かすエネルギー



水力: 水車

uk.yahoo.comより



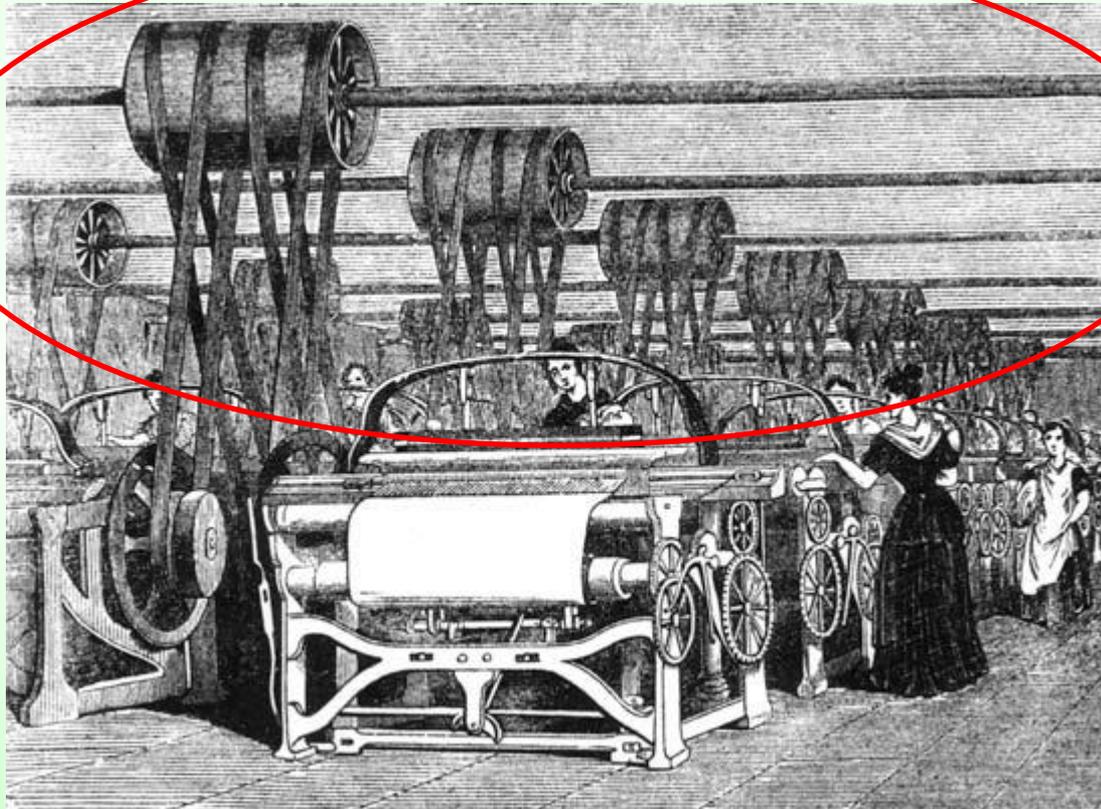
ワットの回転式蒸気機関

玉川寛治『資本論と産業革命の時代』

機械体系で労働はどう変わったのか

機械体系の成立：

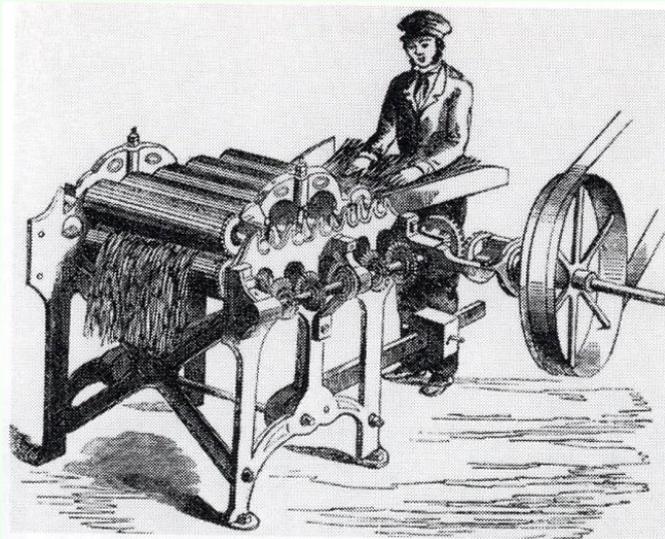
伝導機：伝導機構 原動力を作業機に伝える



機械体系で労働はどう変わったのか

機械体系の成立：

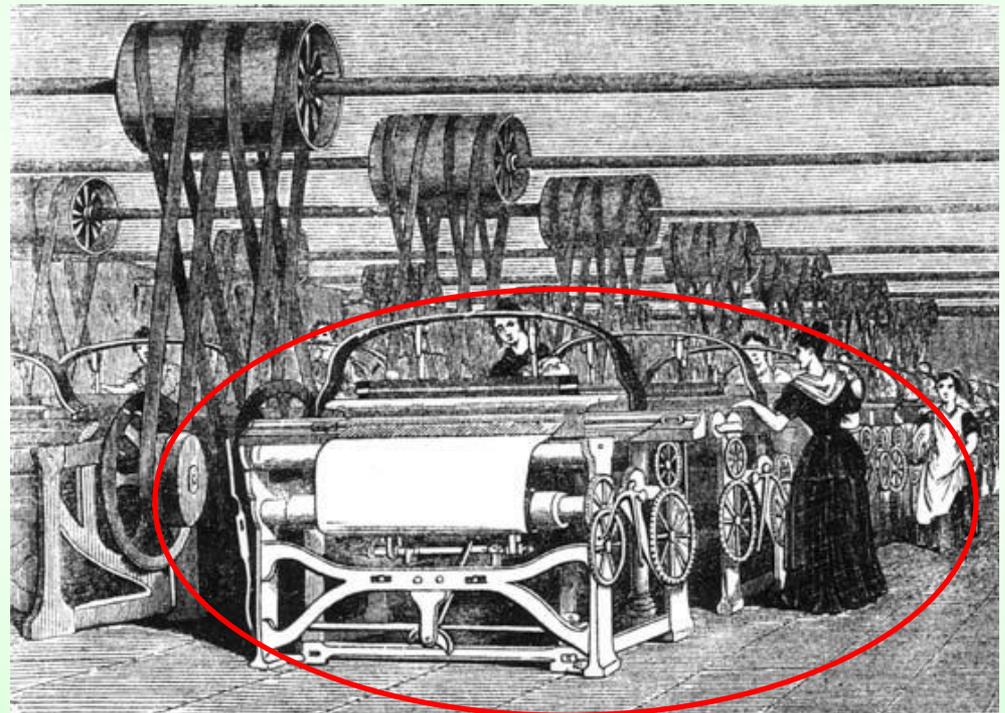
作業機 材料を加工する：元は道具（道具機）



碎茎機

(さいけいき：スカッチング・ミル)

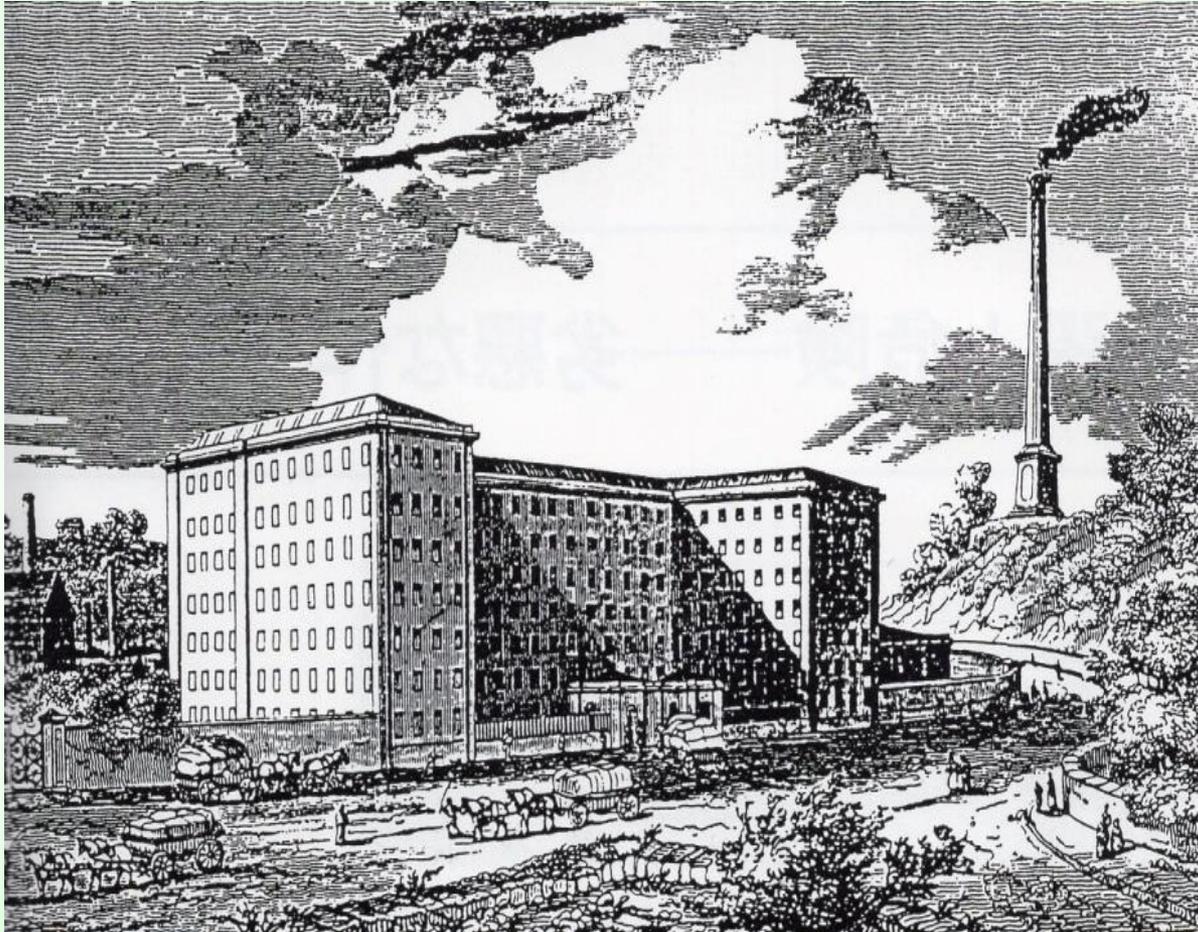
玉川寛治『資本論と産業革命の時代』



www.britannica.com より

機械体系で労働はどう変わったのか

工場：

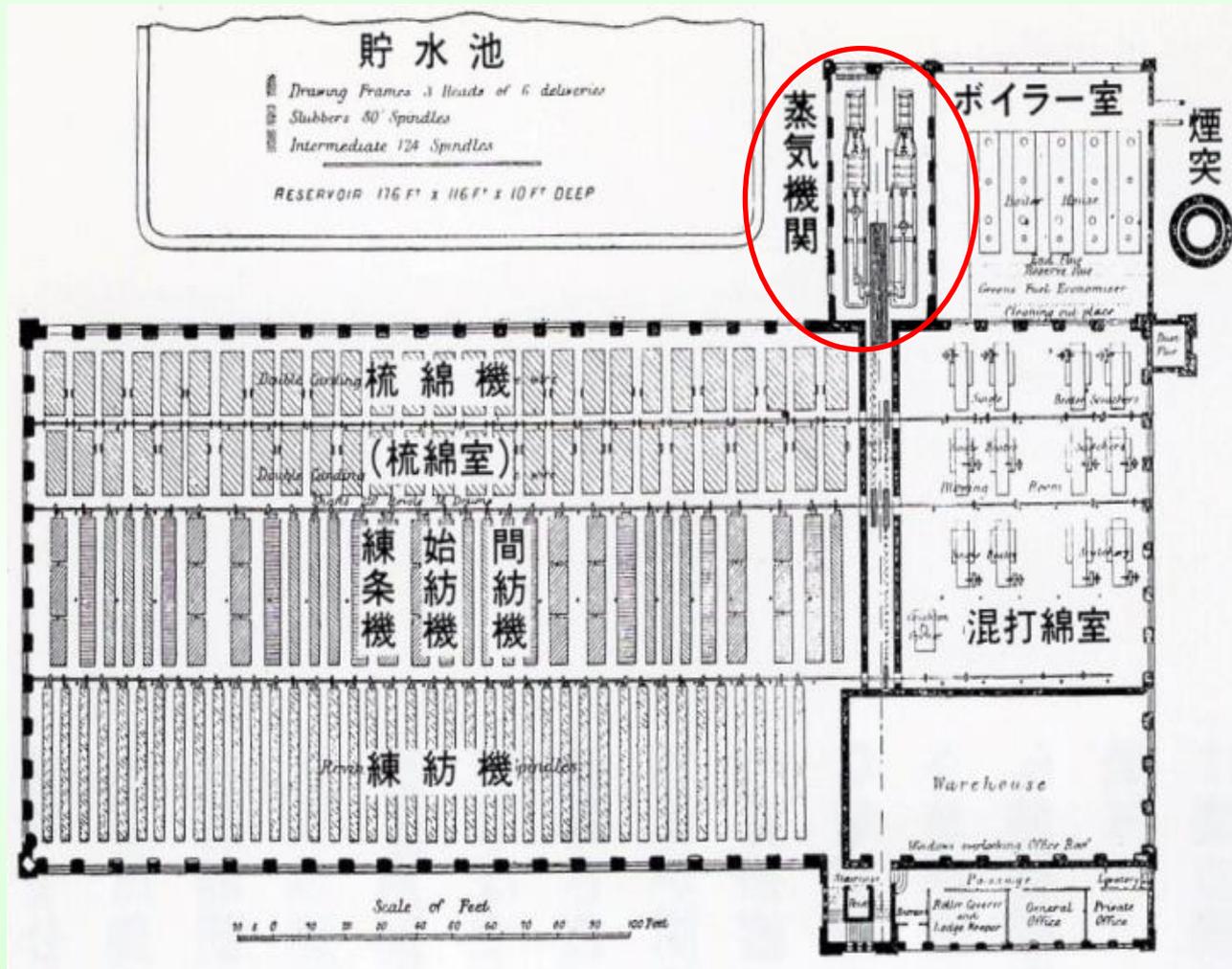


紡績工場：1830年代

玉川寛治『資本論と産業革命の時代』より

機械体系で労働はどう変わったのか

工場：



前紡室の機械配置図

ビデオ

ニュー・ラナーク

イギリス・世界遺産

ロバート・オーエンと産業革命

(TBS:2004-01-25: 約23分)



Robert Owen

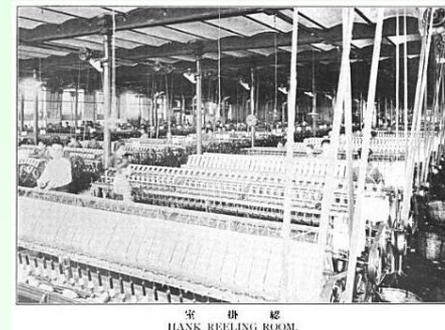
1771/5/14 - 1858/11/17



New Lanark

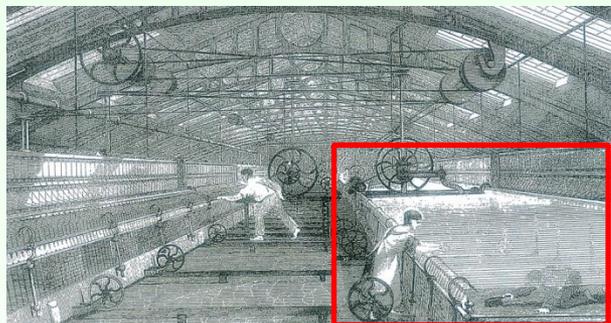
機械体系で労働はどう変わったのか

- ・機械では深夜でも生産できる：**夜間労働**
中断なく、人員交替
労働時間：長 対 生活時間：短
- ・持続的に同じ仕事を担当させる
- ・機械が**主体**で、労働者は**客体**になる：
それまでは労働者が主体、道具・材料が客体
仕事の速さ・段取りが、労働者から機械に
- ・機械により仕事が楽になるのはなく、
機械に対して、**生きた付属物**として労働をする
- ・工場内の**環境悪化**：温度、湿度、空気、騒音：
- ・人命への影響：機械に巻き込まれる
労災は今も：指をなくす・印刷会社の例、

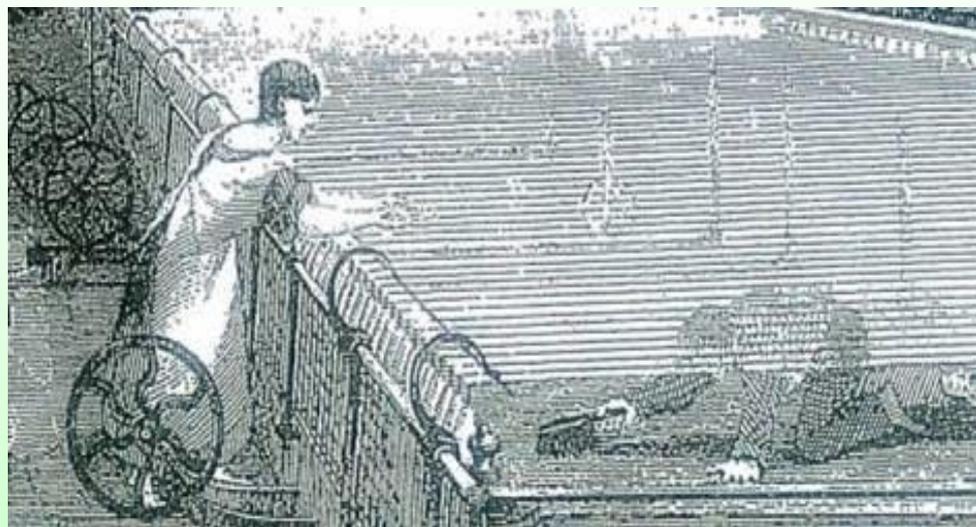
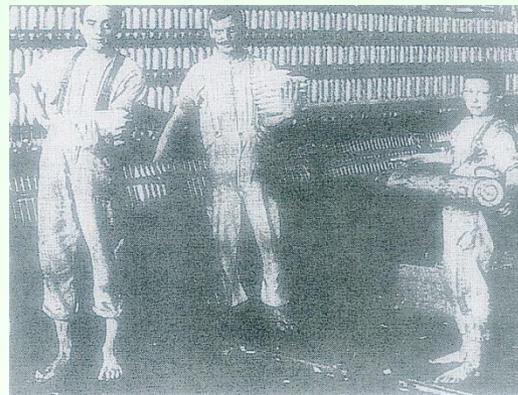


機械体系で労働はどう変わったのか

労働者の人格はあるが、当初は、工場に対して
何の規制もないために、ひどい状況に置かれた
長時間労働・女性労働・児童労働・労働災害

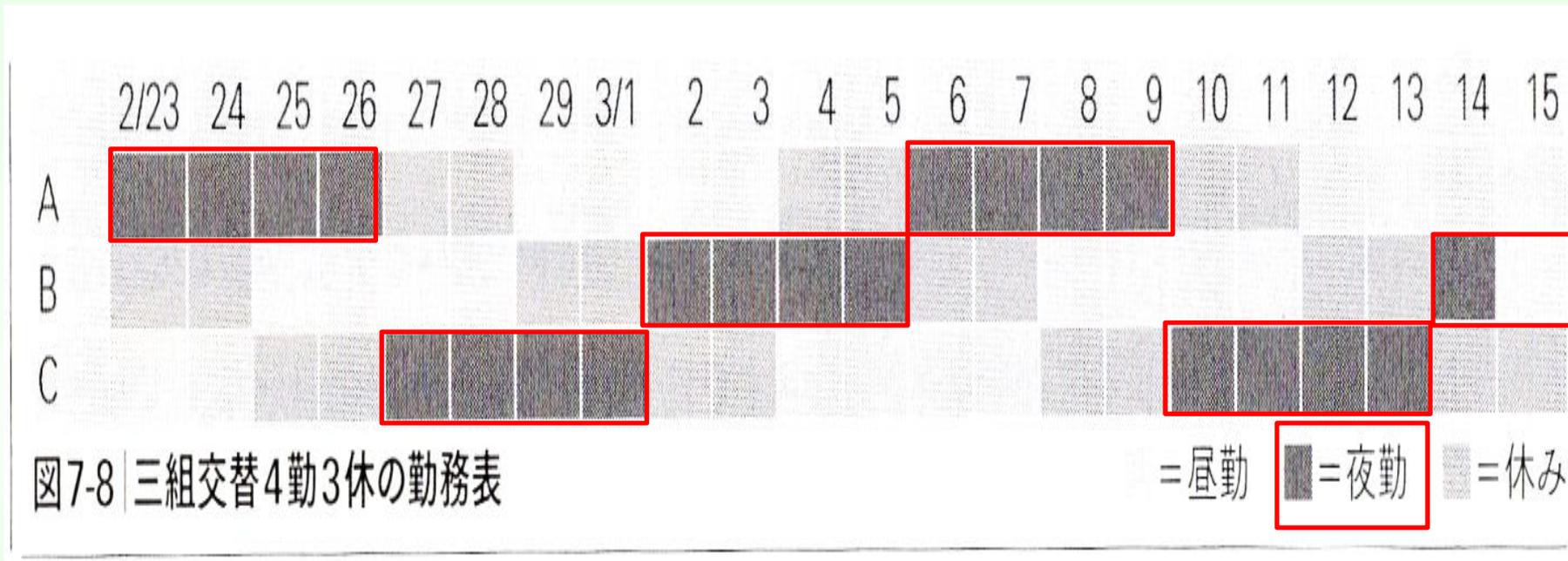


機械の下で
子供が掃除



機械体系で労働はどう変わったのか

現代の夜間労働:



日産横浜工場の三組交替4勤3休の勤務表

伊原亮司『トヨタと日産にみる〈場〉の生きる力』より

機械体系で労働はどう変わったのか

表1 昼夜勤の勤務サイクルと生活時間

		0時	6時	12時	18時	24時
昼勤	月			作		
	火	睡	出	作	退	
	水			業		
	木	眠	勤	業	勤	
	金					
	土					
	日			休		
夜勤	月					出
	火	作	退	睡		
	水					勤
	木	業	勤	眠		
	金					
	土				休	
	日	睡		休		
昼勤	月	眠	出	作	退	
	火		勤	業	勤	

現代の夜間労働:

製鋼会社の
昼夜二交替勤務

中村章『工場に生きる人びと』
より

(注) これとは別に、いわゆる連休のあとの週、昼勤先行といって夜勤が月曜の夜から始まる場合がある。その場合は、夜勤明けが日曜の朝になり、翌朝からまた昼勤として出勤することになる。

機械体系で労働はどう変わったのか

現代の夜間労働:

No 126

平日	3 交替制 夫	三勤		仕事		食事		睡眠								食事		新聞 TV		仕事						
	二勤	睡眠				ひとり家で食事		仕事				食事		仕事				ひとり家で食事		ひとり TV		睡眠				
	一勤	食事		仕事				食事		仕事				家で休養		食事		新聞 TV		睡眠						
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1					
	妻	炊事	食事	身のまわり	仕事			食事		仕事			炊事		食事		TV		子どもの世話		睡眠					
休日	夫	睡眠		睡眠				家でひとり食事		雑事		家でひとり新聞など		家でひとりラジオ TV		ひとり休養		みんなで食事		家族 TV		睡眠				
	妻	睡眠		子と食事		(片付け)炊事		洗たく		掃除		家族と食事		ひとり雑事		近所近所の人交際		買物ひとり		ひとり食事		食事		子どもの世話		睡眠

トヨタ協力会社社員：共働き夫婦の生活時間

機械体系で労働はどう変わったのか

現代の製造ライン: ベルトコンベア → セル生産・屋台方式

図表 1-1 セル生産の基本分類

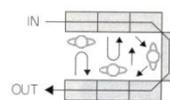
コンベアライン (フリーフローを含む)



特徴

- ・複数の作業員で工程を分割した生産方式
- ・コンベアを用いた生産方式

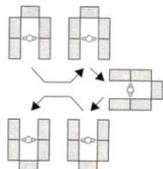
U字ライン (工程分割生産)



特徴

- ・複数の作業員で工程分割した生産方式
- ・1人の作業員が複数工程持ちできる生産方式

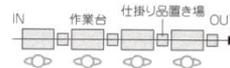
屋台型巡回生産方式 (一人生産)



特徴

- ・1人で全工程の生産を行う生産方式
- ・工程毎の部品を作業場の周りに集める生産方式
- ・工程毎の作業場を渡り歩く生産方式

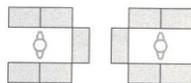
ベルトレス生産方式



特徴

- ・複数の作業員で工程を分割した生産方式
- ・コンベアを用いない生産方式

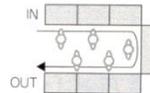
屋台生産方式 (一人生産)



特徴

- ・1人で全工程の生産を行う生産方式
- ・すべての部品を作業場の周りに集める生産方式
- ・1カ所で全工程を生産する生産方式

巡回生産方式 (巡回一人生産)



特徴

- ・1人で全工程の生産を行う生産方式
- ・作業手順に合わせて部品を保管しておく生産方式
- ・部品を取りながら生産を行う生産方式

機械体系で労働はどう変わったのか

手工業者への影響:

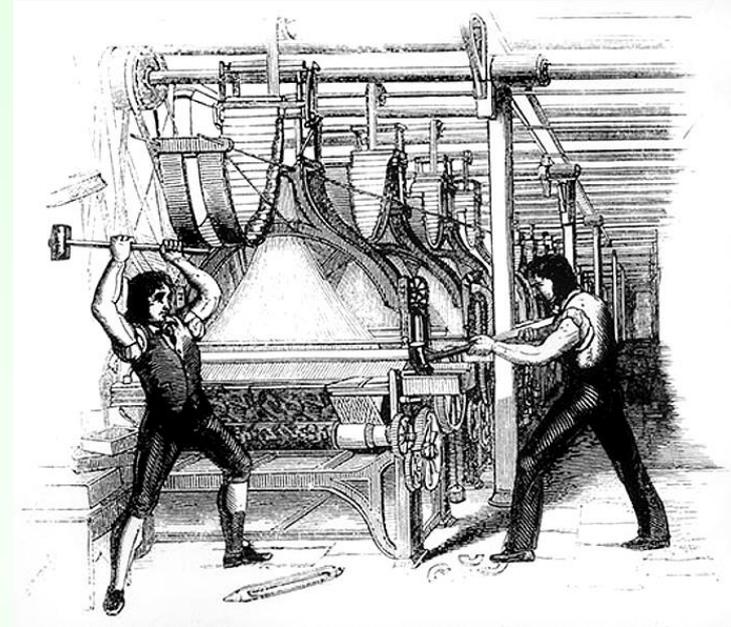
生産力・生産性・数量・価格で劣る手工業者に、多大な影響・失業をもたらした

機械に反発する手工業者の反機械運動として起こる:

機械打ちこわし:

ラッダイド運動:

19世紀初頭の手工業者の反産業革命運動



Wikipediaより

工場法成立の歴史

イギリス：長時間で不衛生な工場労働への規制



1833年工場法：

繊維産業で、18歳未満を夜間労働禁止、
一日**12**時間、9歳から13歳未満は**9**時間に
制限：**工場監督官**制度導入

※9歳の子供が工場で働かされていたことに注意、
18歳以上は労働時間の制限がないことに注意

1844年工場法：

18歳以上の女性を**12**時間、夜間労働を禁止

※女性を夜間労働に使っていたこと、

12時間以上働いていたことに注意：男の規制は無

工場法成立の歴史

1847年工場法:

子供・女性を一日**10**時間(一週58時間) →

1853年 10.5時間(一週60時間)、厳格運用

1864年:

非繊維部門へ拡張、

1867年:

小工場(50人以下)へも適用

1872年:

炭鉱についても少年の坑内10時間制

※ここで事実上、成人労働者も10時間労働に

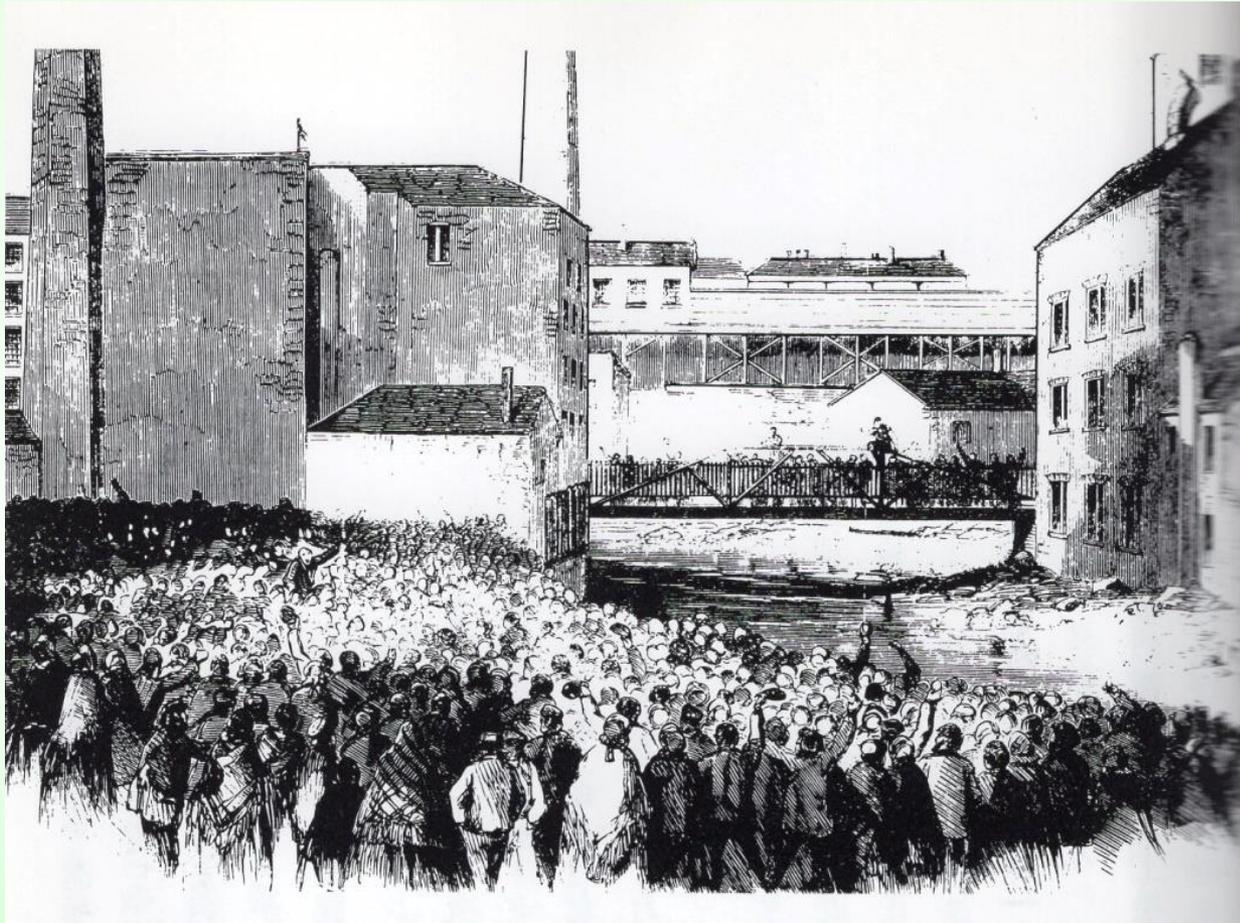
1866年から「**8**時間労働法」制定の運動:

19世紀末から20世紀初頭で欧米各国で制定



工場法成立の歴史

それは労働運動の成果



綿織維労働者労働者のストライキ 1861年

玉川寛治『資本論と産業革命の時代』より

労働運動と妨害・弾圧



シカゴ・1921年争議の決起集会



ストライキを鎮圧する騎馬警官



ストライキに参加する子供たち



ヤード入りするスト破り集団

工場法成立の歴史

工場法制定は、簡単な足並みではなかった
押し返されることもあった
労働者の運動があったからこそ、制定されてきた

1919年:ILO(国際労働機関)創立

※第1号8時間労働条約:

日本はいまだに批准していない:
労働基準法:8時間労働
法律不備のため:抜け穴・36協定
(労働時間関係の条約も)



機械制大工業と労働

大量生産と労働

大量の**未熟練労働者**の必要:

親方制: 機械を管理できる親方が

未熟練労働者を統率する。賃金支払いは親方から
20世紀初頭まで残り続ける: アメリカ: 銃製造

親方制の解体: 経営者が直接未熟練労働者を管理

→ **テーラーシステム**

間接統治から直接統治へ:

親方から指揮権を経営者がとる:

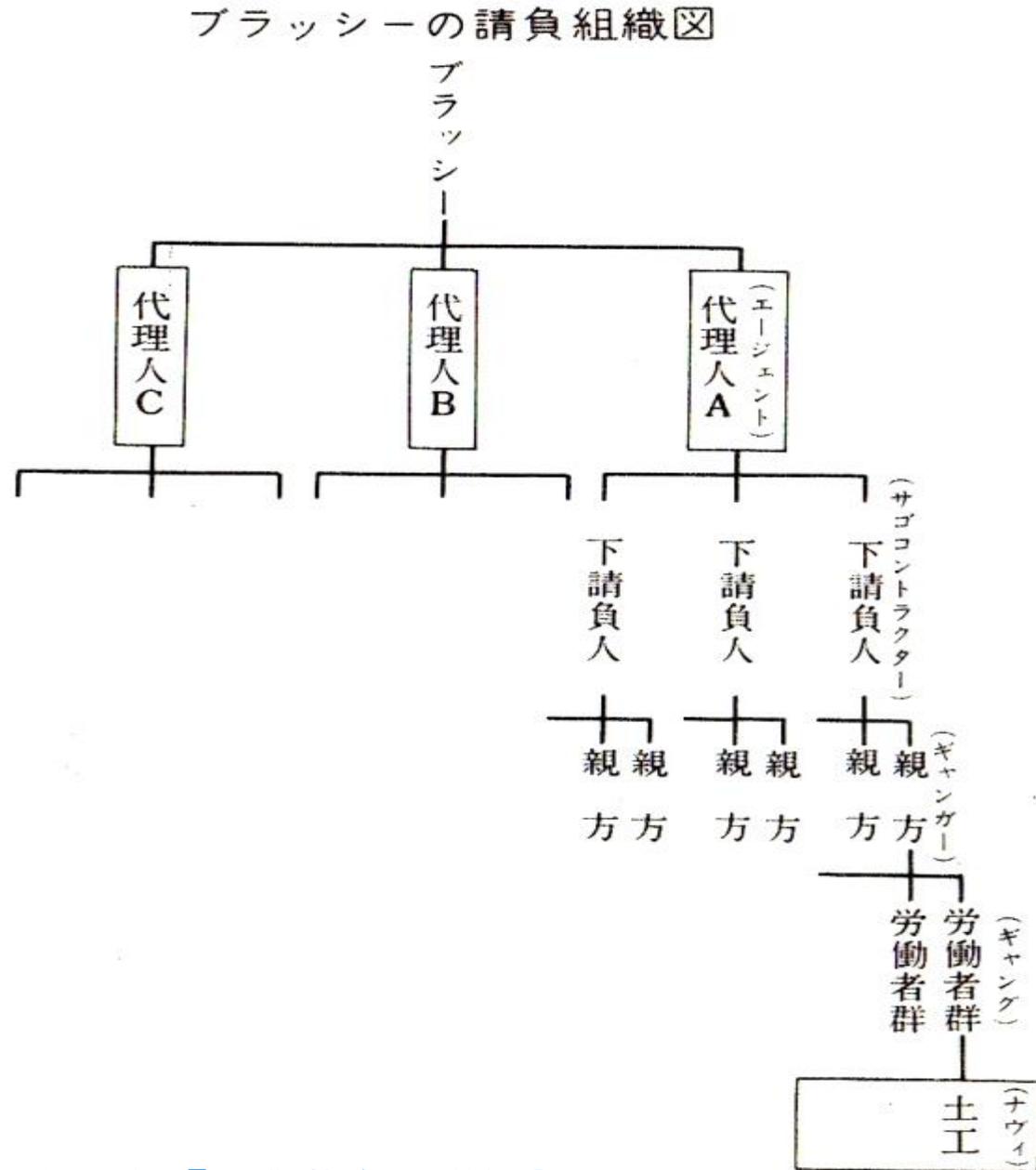
親方は技能労働者として

経営者の下で労働者として生き残る。

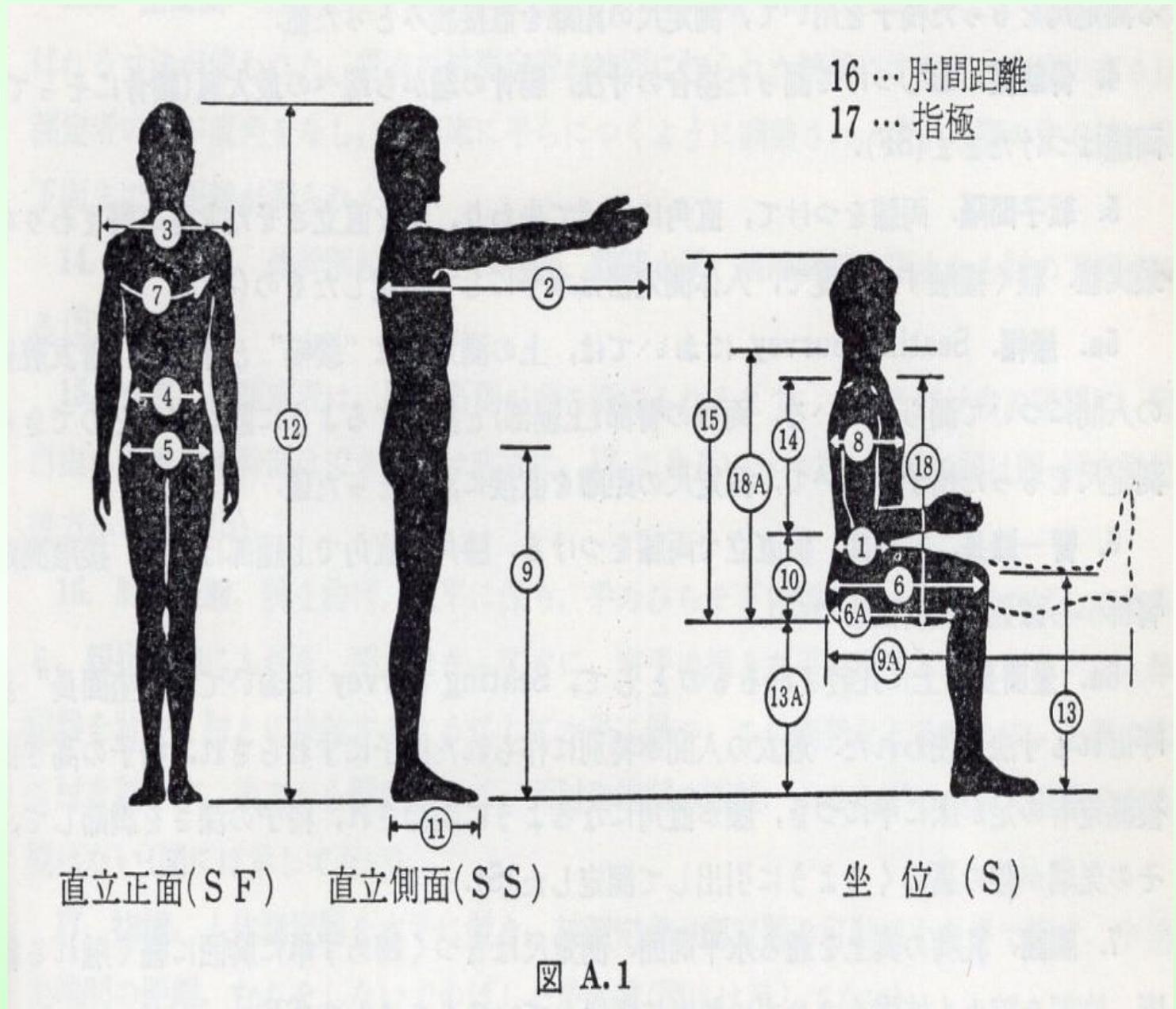


親方制

鉄道建設の例



テーラー・システム 1)



M.E.マンデル
『動作・時間研究の理論と実際』

テーラー・システム 2)



図 23.12 箱を持ちあげている作業者(Lehman と Kolarec の実験).

M.E.マンデル
『動作・時間研究の
理論と実際』

テーラー・システム 3)

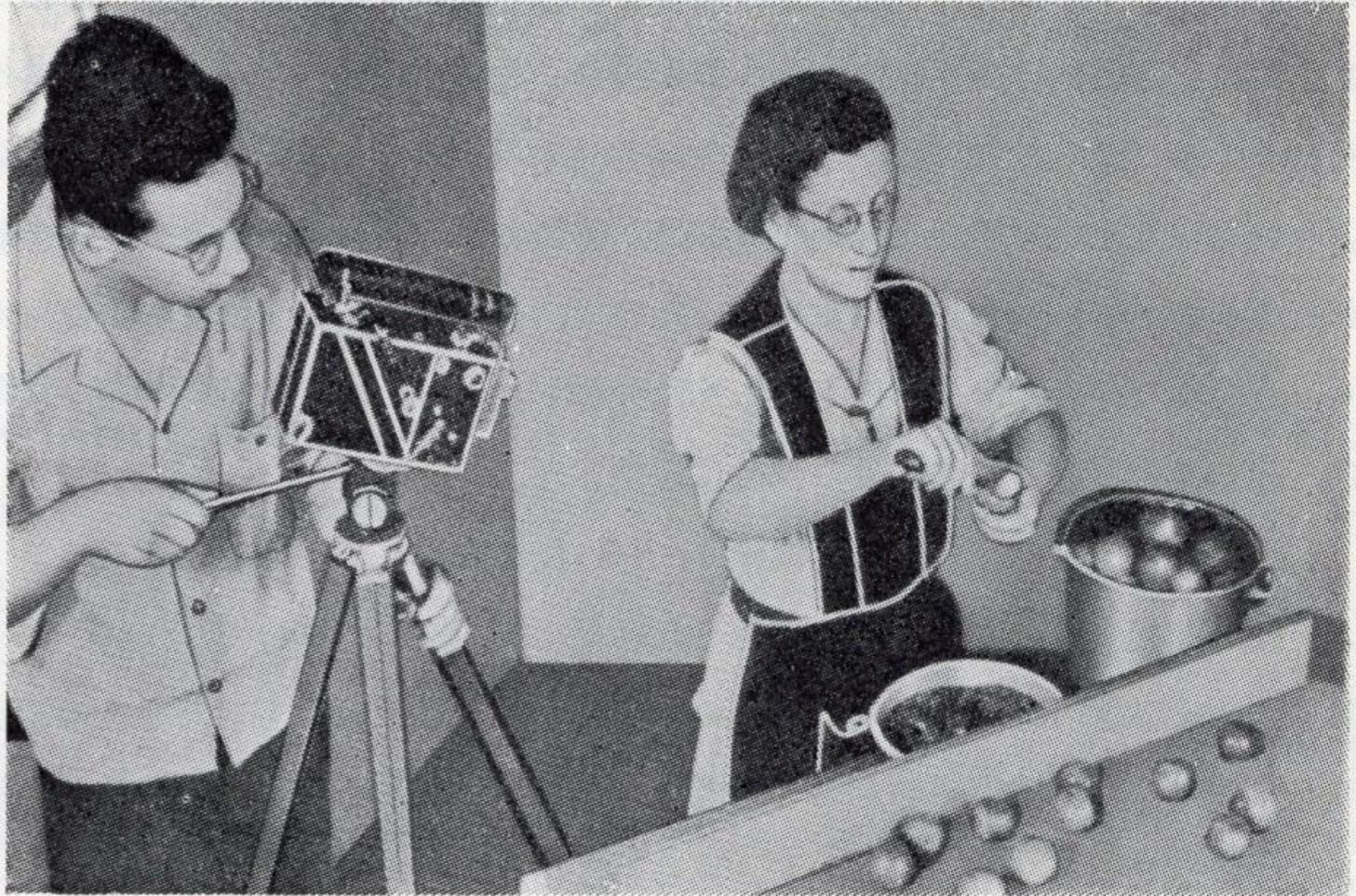


図 12.2 精密なカメラを使用してトマトの皮むきのエキスパートをマイクロモーション・フィルムに撮っている様子. 実際の罐詰工場のコンベアをまねて作った仕事場.

テーラー・システム 4)



図 13.2a スポイト付き薬瓶蓋組立作業 — 改善前(続く).

M.E.マンデル
『動作・時間研究の
理論と実際』

機械制大工業と労働

社会的分業の進展

工場内分業の進展



肉体労働と精神労働の分離:

監督労働、管理労働:

経営者のもとでの管理・監督労働



失業者の存在:

いつでも雇い入れできる労働者がいる
賃金を抑えることができる



© Can Stock Photo - csp16919900

機械制大工業と労働

機械は、人の労働を楽にしたのか

機械は、本来、労働を軽減する

機械体系は、豊かな生活を送る基盤である

機械体系は、100年前、200年前に比べて、

豊かな生活を支える基盤である

機械体系は、

それを動かす人がいなければ、動かない

果たして、

機械の前に立つ労働者を

それを感じているであろうか

モノを作り出す喜び



参考文献

クチンスキー『労働の歴史』
エンゲルス『猿が人間になるにあたっての
労働の役割』
基礎経済科学研究所編
『時代はまるで資本論』昭和堂、2008年



※イギリスについて

ホブズボーム『イギリス労働史研究』ミネルヴァ書房
エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態』

※日本について

細井和喜蔵『女工哀史』岩波文庫
高井としを『私の「女工哀史」』岩波文庫
山本茂美『ああ野麦峠 ある製糸女工哀史』角川文庫

本日はここまでです
ありがとうございました

